

今日(H22.06.22)の流れ

1. 全体説明(プレゼン) 30分
2. 生きる力が強い人とは？(ブレスト) 30分
3. ポイントの抽出、カテゴリー分け&検証 30分

次回以降

4. 何が必要か？を考える
5. 具体的事業に昇華する

【本日の論議】 6月22日(火)ぷらっと 松井、齊藤教頭、安藤、脇山、本田

•もっと他の町民にも“倶知安人”のイメージ、意見を聞いてみたい

学生や障害者ってどんな想いをもっているんだろう。

•もともと倶知安に住んでいる人は、倶知安の強みや魅力に鈍感になっているのでは。もっとそれらを気付ける人であってほしい。

•弱点や悪いところに対してはよく意見が出る。

•育つ・育てるのターゲットはどこなのか？ターゲットが変わればアプローチが変わる。

•子供をターゲットとして、各世代がそれをバックアップするイメージ。

•外からの倶知安に対する評価は概ね高い。

•気付かせるきっかけが必要だろう。外の同年代との交流促進は重要だ。

•ペルーからの留学生も、ホームステイに切り替えるべき。

•農高生は、農高生たっていることに対してどう思っているのか？

様々ではあるが、興味を持って通っている学生達もいる。

•迷ったときは、普通高校よりも職業高校だ！

- 農高に入ったからその先は限られているというイメージは誤り。

座学だけではないところが強みだ。

- 自己肯定観を持てる環境の整備

- やらざるを得ない環境・やらなきゃ終わらない環境

- ワークキャンプ

青森の寒村へ京都の大学生達が行き、生活環境改善的なサポートを行っている。(多額な援助が無くても、繋がりを維持することで他との関わりを構築することは出来る)

- エリア内での関わり合いとエリア外との関わり合いがある。

- 都会では農業が流行っていて、農業雑誌まである。

- 子供達は競争意識が低い

- 志は重要だ。

- 競争がないと考えることがおっくうになる。考える習慣の欠如。

- きづく→考えるへ。

広く意見を聞いてみるためにアンケートをとってみましょう！中学生以上～
広報くっちゃんに折り込む。また、学校、施設など個別にアンケート依頼を行う
7月20日までに項目をつくりましょう

どんなことを聞いてみますか？

- 倶知安の魅力ってなあに？
- 倶知安のこれは他には負けないぞというもの
- 自分自身の自慢できること
- 自分にあったらいいなあと思うこと
- どんなまちに住みたいですか

次回会合、7月6日火曜日 場所は後日連絡